

令和6年度 佐久市総合計画審議会第2部会（第3回） 議事録

日時：令和6年8月20日（火）

午前10時～11時30分

場所：佐久市役所601会議室

【出席者】阿部部会長、高橋副部会長、原委員、渡辺委員、井出（や）委員、竹重委員、伊藤委員、川崎委員

【事務局】木内企画課長、安井企画調整係長、井出（吉）主任、小林主任

○協議事項等

次第

1 開会

- ・部会長挨拶
- ・欠席委員報告（小泉委員）

2 議事

（1）第二次佐久市総合計画後期基本計画の進行管理について

質疑、意見

部会長	第2部会では、「第二次佐久市総合計画後期基本計画」の第2章の都市基盤分野、第3章の経済・産業分野について審議を行い、本日は第3章について御審議いただく。
事務局	【第二次総合計画後期基本計画 令和5年度（2023年度）進行管理報告書】 うち、「第3章 力強い産業を営む活力と魅力あるまちづくり」「農業」（27ページ）について説明
部会長	農業について、質問、意見等はあるか。
委員	市の主要な農産物は米であると思うが、その他にどのような農作物があるか。
事務局	米の他にも、最近であれば、新たな農作物として大粒種のブドウの栽培にも力を入れている。これまでは佐久市では栽培できないと考えられていたが、栽培法の工夫により作付けができるようになってきた。他にも、望月、長者原の高原野菜や、カーネーション等の花卉の栽培、臼田のプルーン等にも力を入れている。

委員	<p>更に、米についても、佐久市に酒蔵はたくさんあるが、佐久市産の米を使った日本酒がないことから、酒米の生産強化についても補助を行っている。</p> <p>今後食糧危機が来るのかもしれないと考えると、これからの農業の担い手はどこにあると市は考えているのか。そこから戦略が生まれると考える。市に20～30代の若い営農者や、法人化した農家はどれだけあるのか。</p> <p>市として、場の整備に力を注いでいることは理解し、そのことも大事だとは思いますが、その場を使う営農者の人的資源をどう考えているか。また、資料にスマート農林水産業の促進についても謳っているが、それについてもビジョン的なものを示してほしい。</p>
事務局	<p>新規営農者が農業の収入だけで生計を立てることが難しく、また、今の田や畑を維持することも大変という実情もある。国の動き等を注視しながら市としても対策を行っていく必要がある。</p> <p>減少傾向にある農業者を増やしていけるかは、全国のどこでも大きな課題となっている。</p>
委員	<p>他市町村の成功事例等を参考にしながら戦略を立てて進めてもらいたい。</p>
委員	<p>ブドウ、リンゴやモモの農家が70歳を超えて高齢化する中で、消毒等の実施が負担となっている。そのような作業を団体でまとめて実施するようなことができれば、そういった農家の事業の継続の助けになるのではないかと。消毒は難しくても収穫はできるという話を聞いたこともある。</p> <p>また、これとは別の話になるが、50代くらいの方で米の刈り取り等を行うグループ活動ができるようになると良いと思う。</p> <p>ブドウ等の新しい作物に力を入れるのも良いが、これまで佐久の名産品としてやってきたモモやプルーンやリンゴ等に対してもより力を入れてもらいたい。</p>
事務局	<p>農家の方は、農薬の撒き方ひとつとってもそれぞれ自分のやり方があり、実際に集約を行うことは課題もあると思うが、これからはそういう意識をシフトしていくことも大事だと考える。</p>

委員	<p>民間が行っていて、行政が入り込むことが難しい分野ではあるが、そこを踏み込んで方向性を示して取組を進めてもらいたい。佐久市は農業をするには良いところであり、新幹線があり、農業高校もある。実際に都会の人がグループで農業のお手伝いに来ているということもあり、農業をやりたいという若者がいないわけではない。実際にそれを生かして課題を解決している自治体もある。ぜひとも総合計画として継続してブラッシュアップしながら取組を進めてもらいたい。</p>
委員	<p>今年地域計画を策定する大事な年となっている。荒廃農地が増えている中で、農地の集約化を図るため、今後10年の農業施策を決める大事な年となる。県と共に、市としてもしっかりと取り組んでもらいたい。</p> <p>食糧安全保障という観点からも、食糧自給率を上げていくことは必要であると考えている。</p>
事務局	<p>「林業」（28ページ）について説明</p>
部会長	<p>林業について、質問、意見等はあるか。</p>
委員	<p>林業について、収益は上がっているのか。</p>
事務局	<p>具体的な収益額についてはこの場では把握していないが、森林環境譲与税を活用した事業において、林業の集約化に向けた民有林の調査を行っている中では、収益性のある森林はあると考えている。</p>
委員	<p>行政の取組は森林の保護という観点が強いように思う。販売に対する補助等を行っているのか。</p>
事務局	<p>地元産材を市の公共施設に使うなどの取組は行っている。</p>
委員	<p>佐久管内のカラマツは年数的に伐採の時期であり、それなりの売上が出るものと思う。伐採をした後に再生林をしていくことが</p>

	<p>重要である。</p> <p>鳥獣被害対策として、ニホンジカ等の駆除頭数を 2,600 頭に増やしていただいたが、引き続き積極的な駆除の継続をお願いしたい。</p>
委員	<p>佐久に森林組合はあるのか。</p>
事務局	<p>佐久森林組合が佐久市を管轄している。事務所は小諸市にある。</p>
委員	<p>円安の状況の中で住宅資材が高騰しているので、地元産のカラマツ材を使うのは良い取組だと思う。</p> <p>少し林業からは外れるが、香坂に太陽光発電のパネルが数多くある。これまでは環境の観点から太陽光発電の推進は良いことという認識で進められてきたが、今後は景観や災害などの負の側面にも着目し、一定のブレーキをかけてもらいたいと考える。</p>
事務局	<p>太陽光パネルについて、4月から県の条例により規制が強化され、土砂災害警戒区域や地滑り区域への設置が許可制となるなど、規制が整備されてきている。そのようなものに則りながら引き続き適正に取り組んでいく。</p>
委員	<p>太陽光パネルについては、事故や盗難が多くて保険がかけられないような状況もある。</p>
事務局	<p>「水産業」（29ページ）について説明</p>
部会長	<p>水産業について、質問、意見等はあるか。</p>
委員	<p>今、小鮎は希少価値が高く、価格も高くなってきている。その生産に対して何か取組を行っているか。</p>
事務局	<p>昨年度から、水田鮎の生産者に対し、事業の継続のため生産面積当たりの補助金を支出している。</p>

委員	高価という割には生産者がいない。
委員	鳥による被害が大きいと聞く。
事務局	気温上昇による酸素不足など、育成が難しいということもある。
委員	年に1回、買おうとしても予約でいっぱい。
委員	商業的には信州サーモンを作って売ったほうが良いとは思う。県も宣伝してくれているのでそこに乗っかるだけで良い。
委員	東京では鮒3匹1,500円の値付けがされている。高級魚である。個人で売ればもっと高く売れるところ、チャンスロスになっている部分もあると思う。
委員	鮒の補助金は活用されているのか。
事務局	活用されている。
委員	補助金があってもやる人が少ない。
委員	私は、海の魚しか食べたことはなかったが、自分で鮒を煮て食べたら美味しかった。鮒の美味しさについて周知する必要があると考える。県外に発信する必要があると考える。
委員	シナノユキマスの育成には大きな池が必要か。
委員	試験場にて育成している。
事務局	「商業・サービス業」(30ページ)について説明
部会長	商業・サービス業について、質問、意見等はあるか。
委員	資料の課題の中に、人口の減少傾向が続いていることから、市

	<p>内外から多くの人を呼び込むことができる商業・サービス業の振興を図る必要がある、とあるが、これは課題としては違っていると思う。佐久市においては既に商業・サービス業の集積が進んでいるが、商業・サービス業の発展具合は人口減少の原因とはならないと考える。商業の発展については一定の評価ができると思うが、これからは商業が発展することによって人が集まるのではなく、人が集まってくることによって自然と商業等が発展していくものであると考える。例えば、小諸市は大型店がなくても人が集まってきて、空き店舗を活用して商業を行っている。大型店ができて失敗するところもある。</p> <p>今の課題設定については時代遅れであるので、違う対策を立てる必要があると考える。このことについては有識者を入れながら、課題の捉え方を変えることを強く要望したい。</p> <p>商店街の人材育成をする必要はないと私は考えている。客が集まってくれば自然と県外から経営者も来る。</p> <p>以前はショッピングモールによる活性化ということがあったが、元々は、人がいたからその必要に応じて商圈ができた。店ができたから人が集まるという考えは違うということに人々が気付いてきている。大型店の出店はもう充分である。</p> <p>商店街の活性化、育成というものはもうやめてもらって、まちが活性化できていれば商店街も自然と活性化すると考えてもらいたい。旧市街地をもう一度立て直さないと、住んでいる人が大変になる。地元企業を地道に支援してほしい。商店街活性化に注目するのではなく、エリアに注目した施策を立ててほしい。</p>
委員	<p>岩村田商店街の駐車場はどのようになっているのか。</p>
委員	<p>岩村田商店街の駐車場は、分かる人には分かるようにはなっている。今の商店街は周遊するような場ではなく、特定の店舗に用事があるときに寄るといった形なので、全体としての駐車場は必要ない。商店街に用がある人は車をどこに停めればよいか分かっている。よく商店街に駐車場がないと言われるが、分かりにくいですが実は商店街の裏の隠れた部分には駐車場がある。そのような問題を解決するために事業計画を立案しているところ。</p>

委員	<p>駐車場が近くにあれば、客も来るのではないか。</p>
委員	<p>実際のところ難しい。誘客をしていくためには、何よりまずは商店街の魅力を高める必要がある。</p>
委員	<p>移住者は手に職を持つ方が多く、創業の話がある。そういった方に対して金融が支援をしやすい体制を整備されていることについて感謝したい。商業・サービス業については、外から来て商売を始めたいという方も多いということを前提に考えていただくと良いと思う。</p>
委員	<p>商工会議所・金融・行政をまとめた創業支援センターを設置すれば、そこで創業支援が一体的にスムーズにできると考える。そういった取組を行っているところはたくさんある。検討いただきたい。</p>
委員	<p>今は商工会議所の方から創業の話を頂いていて助かっている。</p>
委員	<p>創業支援センターはよい取組と考える。色々な支援があっても知る機会がないということもあるので、周知の方法に工夫が必要である。</p>
委員	<p>この施策については、考え方の方向性を再検討いただきたい。</p>
事務局	<p>「観光」（31ページ）について説明</p>
部会長	<p>観光について、質問、意見等はあるか。</p>
委員	<p>佐久市には観光資源が豊富にある。先日の花火大会やバルーンフェスティバル等のイベントの他にも、山等の素晴らしい観光資源もある。</p> <p>そのような中で、市の観光課の職員はとても頑張っていて、土日もずっと活動を行っている。そのことについては敬意を払う一方で、市の職員が頑張りすぎているのではないかと疑問を感じる。</p>

	<p>佐久市観光協会へ観光宣伝を委託し、とあるが、観光協会を地区ごとに設置しているため、頑張れば頑張るほど、地区ごと別々の支援となってしまう等、組織や、全体的な戦略に課題があると考えている。</p> <p>昨年、気仙沼への視察を行ったが、気仙沼では市ではなく観光DMOが中心に観光振興を行っていた。その方法が必ずしも正しいかは分からないが、少なくとも司令塔のようなものがあって、そこで市全体の方向性を定め、戦略を練って、実行していくことが今後必要なのではないかと強く感じている。今の課題に挙げられている情報発信の手法等については、観光DMOで取り組むべきことなのではないか。</p> <p>今後の新しい計画の中では、そういった方向性を盛り込んでもらいたい。</p>
事務局	<p>商工会議所から観光DMOの要望を頂いていることは承知している。観光課にも改めて御意見として伝えさせてもらいたい。</p>
委員	<p>人集めのイベントよりも、経済効果の観光が必要であると切り替わってきている。人口減少下で、人口が一人減ると120万円の収益が減ると言われている。市の税収入も減っていく中で、観光によってお金を稼ぐことで収入を賄っていく必要がある。イベントにただ汗水を垂らすのではなく、経済効果を考えて、もう一度作り直して収益を上げるような仕組みにしていきたい。民間会社の示すインバウンドの観光客指数を見れば、軽井沢町は150、上田市は100程度、長野市は180、一方佐久市は8しかない。発信が少なく、もったいない例として挙げられている。可能性はあるので、集客数を基準とするのではなく、宿泊・飲食・特産品販売につながる効果のある施策に取り組んでほしい。</p>
委員	<p>タクシーの運転手に話を聞くと、外から来る人は住んでいる人も知らないようなことを調べてやってくる。</p>
委員	<p>今回の花火大会は、観光課を中心に進めてもらったが、良かった点として、外注すべきことは外注をすることによってすっきりした。市の職員はとても頑張ってくれているが、頑張りすぎていることがある。市役所職員も働き方改革に取り組む必要があるた</p>

<p>部会長</p>	<p>め、外部機関にしっかり委託して、市は戦略等に集中した方がよいと考える。</p> <p>その方が結果的に市のコストも減る。</p>
<p>委員</p>	<p>地域の魅力を高めるという中で、インバウンドの方はどこで魅力を感じるか分からないので、観光DMOのような団体に任せて、日本人的な観光資源は少ないかもしれないが、インバウンドの方に届くようなものを探してやってみるのも良いのではないか。白馬村はインバウンドで有名だが、交通的によくはなく、自然の良さと集客できている。市としても外貨を稼ぐことを進めてほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>DMOの取組を進めることについては、ぜひ取り組んでもらえるよう私からも強く要望したい。チャンスロスになっていると感じる。これまでのやり方ではなかなか効果が出ないということは皆さん分かっているかと思うが、DMOを作ることにより、市の組織の中でも観光をどうしていくかということ話し合う機会になると思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>「工業」（32ページ）について説明</p>
<p>部会長</p>	<p>工業について、質問、意見等はあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>SOICに頼むばかりで良いのか。</p> <p>企業の入れ替わりもある中で、工場用地を活用できる体制は必要であると感じる。地元企業への支援、人不足も課題。これについては国の移住政策の課題であるが、外国から労働者がかなり入ってきているので、そういった方が単身ではなく家族で移住できるようなことが必要なのではないか。</p>
<p>委員</p>	<p>工場用地を求める声はある一方で、地元では人の取り合いになるとの意見もある。難しいが、雇用の確保、外貨の稼ぎ方として観光や農業もあるが、工業は主力であり、地元の声を踏まえて取り組んでいかなければならない。ただ、会社の中にも付加価値の</p>

委員	<p>高いものを作る会社とそうではないところがあるので、難しいことではあるが、地域全体の今後を考えれば、伸びる部分に投資して、支えていく必要があると考える。</p> <p>SAKUメッセについて、若年者の将来的な地元就職の訴求機会として、小中学生などの若者を呼んでいたが、これはよい取組だと思うので今後も継続してほしい。</p>
事務局	<p>「就労・雇用」(33ページ)について説明</p>
部会長	<p>就労・雇用について、質問、意見等はあるか。</p>
委員	<p>佐久市の施策の中で、私立学校により教育・子どもから人を呼ぶというのは良い戦略となっている。このことが後々の就労・雇用に繋がっていくのではないかと思う。</p> <p>現在、子どもの保護者からは、夏休みがいらぬとの声があるなど、貧困が広がっていると感じる。そのような中で、給食への支援は必要があると感じている。必ずしも無料にすることが良いとは思わないが、値上がりにより量も少なくなっている。</p> <p>この施策に直接的な関係はないかもしれないが、就労者、子育て世代の移住者を増やすためには若い人への支援が重要であると考えます。</p>

## (2) その他

部会長	<p>その他について、事務局から何かあるか。</p>
事務局	<p>全体会の開催は、9月11日(水)午後3時から、佐久消防署3階が会場となる。</p>
部会長	<p>全体を通して何かあるか。</p>
委員	<p>オーストラリアからのインバウンド客は、1年間の稼ぎを2週間程度につぎ込むようなお金の使い方をするという。</p>
委員	<p>インバウンドのやり方として、他の人が行ったことがない、や</p>

委員	<p>ったことがないということがステータスになるので、そういったコーディネートが必要である。</p> <p>農業、林業について、鳥獣対策のために柵を設置したとあるが、距離が不足していると思う。山の方では食害がひどく、農業に取り組めないという悪循環もあるので、規模を大きくすることや、補助など抜本的な対策が必要と感じる。</p>
委員	<p>この審議会に参加して、計画自体に興味を持つ必要があると感じた。総合計画について、全てを細かく記載されているが、一本柱を立てて取り組んだ方が良いのではないかと感じた。これをもとに佐久市を住みよくして行ってほしい。</p>
副部会長	<p>それでは、以上で本日の全ての審議を終了とする。</p>

### 3 閉会